



一般社団法人 福井県中小企業診断士協会

診断ふくい

第43号

<2025年7月発行>

〒910-0296 坂井市丸岡町熊堂 3-7-1-16 福井県産業情報センタービル 3F TEL: 0776-68-0170 FAX: 0776-67-7429
ホームページ: <https://www.sindan-fukui.jp/> Eメール: info@sindan-fukui.jp

「100年に一度のチャンスに、スピード感を持って臨む年に」



会長 川嶋 正己

会員の皆様、関係機関の皆様には、平素より当協会の活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

北陸新幹線の福井開業から一年余りが経過しました。この一年は、地域の可能性があらためて見直されると同時に、観光、まちづくり、企業経営において「福井らしさ」をいかに活かしていくかが問われ続けた時間でもありました。

そして本年もまた、福井県にとって、我々福井県中小企業診断士協会にとって、大きな転換点の年になると感じています。新幹線開業の効果を県内全域へ波及させ、地域産業の進化をどのように仕掛けていくかが、問われています。

当協会としても、「観光の産業化」や「地域資源の事業化」といった視点から、「地方創生ナビゲーター」としての立場を明確にし、県内各地の支援機関や自治体と連携した調査研究・提案活動を、引き続き推進してまいります。

一方、グローバルな視点では、国際紛争や気候変動、物価高騰、急激な円安など、外部環境の不確実性が増しています。加えて、生成AIの急速な普及やカーボンニュートラルへの対応といった構造的な経営課題も、もはや一部の先進企業だけの話ではなく、すべての中小企業にとって現実のテーマとなりつつあります。これらはリスクであると同時に、新たな成長機会でもあります。

こうした中で、我々中小企業診断士の役割はますます重要性を増しています。AIやITツールを活用した業務革新支援、脱炭素に向けた経営モデルの見直し、サステナビリティ経営への転換支援など、単なるアドバイザーにとどまらない、“変革の伴走者”“経営の羅針盤”としての役割が求められています。

現在、当協会には多様なバックグラウンドを持つ会員が集い、それぞれの得意分野を活かして活動しています。特に近年は、全国的にも中小企業診断士資格の取得や協会への入会希望者が増えており、これはまさに、我々診断士と診断士協会への社会的期待の高まりを示すものと受け止めています。

こうした多様性を活かしながら、今年度も「診断士の力を高め合い、前向きに、確実に活動する」というスローガンのもと、組織内診断士や若手・新入会員への支援にも注力し、研修・事例発表会・視察研修などを通じて、「診断士になって良かった」と実感できる協会

づくりを進めてまいります。

変化の激しい今だからこそ、私たちには挑戦する価値があり、地域には私たちの力が必要とされています。どうか本年度も、皆様と力を合わせ、確かな実績を積み重ねてまいります。

皆様の積極的なご参加とご協力を、心よりお願い申し上げます。

委員会活動報告

◆事業推進委員会

従来に引き続き支援機関等との連携・交流を図り、受託事業の維持拡大と継続的で安定的な活動実施に向けて、広く営業活動を推進します。

コロナ禍により業績の回復が遅れている企業の様々な課題について、金融機関および支援機関と連携し、経営の改善を積極的に取り組んでいきます。

また、中小企業の大きな課題の一つである「事業承継」の支援に関しては、福井県事業承継・引継ぎ支援センターと連携し、事業引継ぎ後の組織統合（PMI）に向けた支援を展開します。

各方面からは、「専門の異なる複数の診断士に関わってもらうことで、相談することに安心感や期待感がある」、「同時にいろいろな角度からの意見が聞けてスピード感がある」という意見をいただいております。

今後は、多彩な専門分野・得意分野を有する中小企業診断士が所属し、豊富な事例とノウハウを有する「福井県中小企業診断士協会」の総力を結集し、様々な問題を解決していきたいと思っております。



委員長 竹内 真一

◆事業企画委員会

事業企画委員会では、11月4日の中小企業診断士の日にあわせた中小企業診断士としての活動成果や支援事例の発表の場としてのシンポジウムを開催し、日々の診断士活動を通じた経営改善や新事業展開、事業再構築、事業承継、AI活用等の支援事例の情報発信を通じて、経営の参考にしていただくとともに、「中小企業診断士」の認知度向上・地位向上に取り組んでいます。

また、非営利活動法人福井県情報化支援協会と連携し、県内中小・小規模企業のためのDX推進と事業計画立案や補助金活用のセミナーを開催し、「地方創生」に貢献していきます。

シンポジウムやセミナーを通じて、中小企業診断士の支援分野を知っていただけると幸いです。



委員長 白崎 貴之

◆総務・コンプライアンス委員会



委員長 松田 博史

数年にわたり作業の標準化・効率化を図ってきたことで、安定した事務局運営ができるようになりました。本年度は、長らく導入検討をしていたKintone（キントーン）について具体的なアクションにつなげていきます。

まずは会員の方から見えづらかった各種データベースを整備するところから始め、将来的には会員間のコミュニケーションツールに使っていただけたところまで検討中です。

会員のコンプライアンス順守については、Eラーニングによる研修を促し、中小企業診断士としての資質向上につなげていきます。

◆広報委員会

広報委員会では、経営コンサルタントとして唯一の国家資格である中小企業診断士の認知度向上を図るため、協会活動に関する情報発信・開催報告を行ってまいります。

福井県内でも、経営支援はもちろん農業支援、創業者支援、事業承継支援など中小企業診断士の活躍する場面が広がり、期待の高まりを感じています。

様々なフィールドで活躍する診断士の活動を「見える化」することで、我々診断士と診断士協会の活躍の場を広げていきたいと考えています。今後とも、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

<事業>

- ・協会活動の情報発信（ホームページ、SNS等）
- ・協会機関紙「診断ふくい」の発行と関係機関への配布（年2回）



委員長 佐藤 さとる

◆例会・研修委員会



委員長 大森 健

今年度も、昨年度よりの目標であるプロコン診断士、企業内診断士を問わず、診断士として求められる知識のインプットとアウトプットを提供出来る場としたいと考えております。

具体的にはインプットとアウトプットの場であるハイブリッド型の研修を3回（6月3日、第1回例会として「福井駅周辺のまちづくりについての勉強会、懇親会」を実施済み）、嶺南部会の方々と共に共催出来る例会（部会）を実施したいと考えております（計4回）。また、例会は診断士同士の交流の場と位置づけ懇親会も併せて計画しております。会員の皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

◆資格更新委員会

今年も「理論政策更新研修」を9月6日（土）に予定しています。

中小企業支援に必要な本県の支援施策に関する内容に加え、事業再構築や人材確保の推進などの分野で、企業支援事例や経営者の講演を盛り込み、皆さんの診断業務の参考となる研修を企画したいと考えています。

また、今年も会場とオンラインのハイブリッド形式で開催させていただく予定です。多くの皆様のご受講をお待ちしています。



委員長 永田 幸也

【理論政策更新研修 開催予定】

日時：令和7年9月6日（土）8:20～13:00

会場：福井商工会議所ビル(福井市西木田)

(オンライン受講も可能です)

◆観光産業化研究会

【共同代表 峠岡 伸行・川嶋 正己】

観光産業化研究会では、これまでに勝山・大野・敦賀・あわら・小浜・坂井といった県内各市に対し、観光を切り口とした地域活性化の提案を行ってまいりました。これらは自主研究の域を越え、各市長等への報告・提案の機会を通じて、今後の連携の糸口として着実に広がりを見せています。

昨年11月に開催された「地方創生シンポジウム」では、これまで当研究会が取り組んできた敦賀市、坂井市、大野市との連携事例を発表させていただき、多くの関係者からご関心と反響をいただきました。ご協力いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。

令和7年度は、福井県の観光産業において象徴的な成功例ともいえる「鯖江の眼鏡産業」を研究テーマに据えています。全国的なブランドとして定着した鯖江の取り組みをモデルとして分析し、県内他地域の伝統工芸や地場産業にも応用可能な成功要因を抽出・提案してまいります。現在は9名のメンバーで活動しており、現地ヒアリングや先進事例の収集を通じ、実践的な成果を目指しています。

観光振興と産業振興を融合させた“観光の産業化”という視点は、今後の福井にとって重要な地域戦略となると確信しています。大野市や敦賀市等ではすでに当協会とのタイアップによる具体的なプロジェクトも動いており、今後はこうした展開を他地域にも広げていきたいと思っております。

当研究会では、こうした活動に関心のある会員の皆様の参加を随時歓迎しております。地域と向き合い、産業の未来を描くこの取り組みに、ぜひとも多くの方に関わっていただければ幸いです。

◆事業承継研究会

中小企業診断士による事業承継支援の拡大に向けて、令和7年度についても福井県事業承継・引継ぎ支援センターと連携し、中小企業診断士が事業承継の分野で活躍できるよう各種セミナーや勉強会を開催して参ります。

現時点では、福井県事業承継・引継ぎ支援センター主催にてセミナーと後継者に向けた養成塾を実施予定です。



委員長 佐々木 孝美

<セミナー>

「崖っぴちからの挑戦、そして息子へつなぐ事業承継ストーリー」

日時：令和7年8月27日（水）13:30～15:00

会場：福井商工会議所ビル(福井市西木田)

講師：樋口メリヤス工業株式会社 代表取締役 中江 優子氏

福井県事業承継・引継ぎ支援センター

サブマネージャー 佐々木 孝美氏（当協会会員）

参考 URL：<https://fukui-shoukei.go.jp/archives/11018/>

<後継者育成塾>

・事業を引き継ぎ、未来を描く！ 後継者育成塾（全6回シリーズ）

日時：令和7年8月27日（水）、9月3日（水）、9月24日（水）、10月8日（水）、
10月29日（水）、11月5日（水） 時間はいずれも18:30～20:30

会場：福井商工会議所ビル(福井市西木田)

講師：FSAコンサルティング株式会社 代表取締役 谷川 俊太郎氏（当協会会員）

株式会社KYAMサポート CEO 白崎 貴之氏（当協会会員）

参考 URL：<https://fukui-shoukei.go.jp/archives/11014/>

協会活動の紹介

◆例会（3月）「稼げるプロコンノウハウ共有の為の分析会」

日時：令和7年3月19日（水）18:30～

場所：ハピリン（2階イベントホール 福福小屋）

参加者数：16名

去る3月19日（水）ハピリン2階のイベントホール福福小屋内にて「稼げるプロコンノウハウ共有の為の分析会」を開催し、16名の会員に参加いただきました。

目的は、当協会においても新規に加入いただく会



員、独立する会員が漸増する中、現在、プロコンとして活躍されている川嶋会長、加藤副会長のノウハウを開示いただき、独立（したい、した）の会員の士気・意欲、スキルの向上の一助になればとのことで開催しました。

講師のお二人からは、プロコンになるまでの経歴、具体的な販路（得意先）、有効と思われるアクション、スキル・ノウハウ等を発表いただき、大いに学び、沢山の刺激をいただきました。

加藤副会長からは、掴みとして、生成 AI を使ってプレゼン資料を作成した話から、県外のお客様でも一回目の面談は必ず自ら足を運び、その会社の雰囲気（外観、社員の表情等）をつかみ、その企業の課題について仮説を持ってのぞむこと、基本的に仕事の依頼は絶対に断らない姿勢に感銘を受けました。

川嶋会長からのお話からは、様々な情報源（ネットワーク）、特に地域活動への注力が成功の最大の要因ではないかと感じました。また事例化を通じた自身のブランディング化により、自ら営業することなく、お客様からのお問い合わせが来るなどの話をいただき、強みを深化させることの重要性を学びました。

参加者の方々から様々な質問が多くあり、プロコンノウハウへの関心の高さが伺える大変有意義な例会となりました。

また分析会の後は、懇親会を開催。分析会の会場では中々、聞けない「ぶっちゃけトーク」をお聞かせいただくなど大いに盛り上がりました。

◆令和7年度定時総会（5月）

日時：令和7年5月16日（金）18：00～

場所：福井商工会議所ビル 国際ホール

参加者数：65名（内、委任状22名）

今年も定時総会を開催し、昨年度の報告および今年度の計画について、会員の皆さまに審議・承認をいただきました。20年以上に渡り協会活動に貢献いただいた方を表彰する「会長賞」として、竹川充会員、白崎貴之会員、坪川光弘会員を表彰しました。新入会員として9名の方をご紹介することができ、当協会の発展を感じられる総会となりました。

総会後は、恒例の交流会を開催し、42名の方にご参加いただきました。親睦を深めると共に、診断士の在り方や協会の在り方など熱い意見交換をされていました。



◆例会（6月）「コノジナガヤを中心とした新栄エリア視察と座学研修」

日時：令和7年6月3日（火）18:30～

場所：新栄商店街「コノジナガヤ」（福井市中央1丁目14-3北の庄通り）

（1）現地視察：コノジナガヤを中心とした新栄エリアの解説

（2）座学研修：「北陸新幹線福井開業後のまちなかの現状と課題」

講師 まちづくり福井株式会社 代表取締役 松尾大輔氏

参加者数：14名

例会・研修委員会では、6月3日（火）に令和7年度1回目となる例会を開催しました。今回は、北陸新幹線福井開業後の福井駅前の現状と今後の持続的な賑わいに向けての課題を学ぼうと、まちづくり福井(株)の松尾大輔社長を講師にお迎えし、新栄商店街に今春オープンしたコノジナガヤの視察を兼ねて開催しました。

コノジナガヤでは、松尾社長から施設概要やオープンに至るまでの経緯や苦労を伺いました。建物全体は、元々の木造の柱や梁をそのまま活かし、あえておきだしにすることで、レトロ感を演出し、まちと一体となった開放感のある小さな複合施設となっています。

飲食店やギャラリーなど個性的な店舗が集まるなか、計画どおりにいかなかった区画があったとのこと。再開発事業で建物の解体がすぐ近くで行われている状況では、出店に躊躇する経営者がいても無理はない。このため一部区画は、シェアオフィスやラーメンショップを直営形式で営業しています。

まちづくり福井では、県外からも集客している「あげフェス」や「ワンパークフェス」などの大型イベントだけでなく、平日にどうしたら日常の賑わいづくりに繋がるか知恵を絞っているとのこと。

まちなかを流れる足羽川の利活用など、現在進行形で課題を意識しながら、社員だけでなく業務委託やアルバイトなど総勢約70名で様々なプロジェクトに取り組んでいることがわかりました。福井県、福井市、福井商工会議所が一体となって策定した県都グランドデザインの実行部隊として今後も期待したいところです。

例会後は、松尾社長を囲んでの懇親会を開催。会員同士の活発な意見交換が行われながら夜が更けていきました。



◆診断士養成塾 活動報告

養成塾は中小企業診断士を目指す受験生に、会場で解く練習となる環境を提供しており、令和7年度で8年目に入っています。6月28日(土)、29日(日)は、休日を返上し、1次本試験を想定した全国公開模試が行われました。

1次試験の約1カ月前ということもあり、皆さん真剣に問題を解きながら、実力の確認を行っていました。本試験自体が会場で実施されることもあり、会場で解く緊張感、感覚、時間配分、周囲の影響等、自宅では経験できない雰囲気味わえるのが養成塾の特徴です。

ここ数年、順調に合格者を輩出した影響で、今年は少人数での実施となっています(ある意味、嬉しいことですが)。今年の塾生も全員が合格し、登録後は、診断士協会でお会いできる日を楽しみにしています。



新入会員紹介



金森 達郎
(かなもり・たつろう)

今年度から入会させていただきました金森達郎です。

福井県信用保証協会勤務し、現在は保証審査と経営支援業務に従事しています。

担当エリアは、何故か嶺南地域が長く、金融機関の方からは「嶺南出身ですか」と聞かれることが多いですが、出身は遠く離れた坂井市三国町です。

一生勉強をモットーに、“経験と感動”を得るべく、地元福井県で挑戦し続けていきたいと考えております。

皆さまどうぞよろしくお願いいたします。



栗井 康敬
(くりい・やすたか)

はじめまして。令和6年11月に入会いたしました栗井康敬と申します。

勤務先は（公財）ふくい産業支援センターで、これまで設備投資支援、販路開拓支援、研修事業、情報誌発行等の業務に携わってきました。

現在は、小規模・中小企業の方への様々な経営相談に対応する「福井県よろず支援拠点」を運営しています。事務局として多くの専門家と関わる中で、その支援が企業に貢献している様子を拝見し、刺激を受けています。

今後は、自分自身も中小企業に貢献できるよう、協会の各活動への参加や皆様との交流を通して研鑽を積んで参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



藤本 雅也
(ふじもと・まさや)

令和6年11月に資格登録し、本年度から入会させていただきました藤本雅也と申します。

小浜市出身で小浜商工会議所に勤務しています。現在は中小企業相談所で、創業や販路開拓、事業承継などのご相談をはじめ、補助金申請のサポートや各種セミナーの企画・運営等を行っております。

プライベートでは、音楽ライブやスポーツ観戦が大好きな他、今年は釣りで大物を釣り上げたいと意気込んでいます。

一期一会を大切に、皆様と共に学び・成長し、楽しく活動に参加させていただきたいと思っております。

今後もしもご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

編 集 後 記

一般社団法人
福井県中小企業診断士協会

MENU



新着情報 What's New

すべて

お知らせ

研修
セミナー

養成塾

令和7年度最初となる診断ふくい（第43号）を担当しました。ここ数年、若いメンバーが協会に入会し、様々な活動にも積極的に参加して下さることもあり、協会活動が活気づいているのを感じています。

診断士および診断士協会の認知度向上につなげるべく、Webサイトやfacebookページなどを通じ、情報発信してまいります。今後に向けた幅広いご意見・ご要望を、心よりお待ちしております。

[ホームページ](#)

[facebook](#)

福井県診断士

検索

